

週間漁海況情報 2022年第11号

令和4年3月15日発行

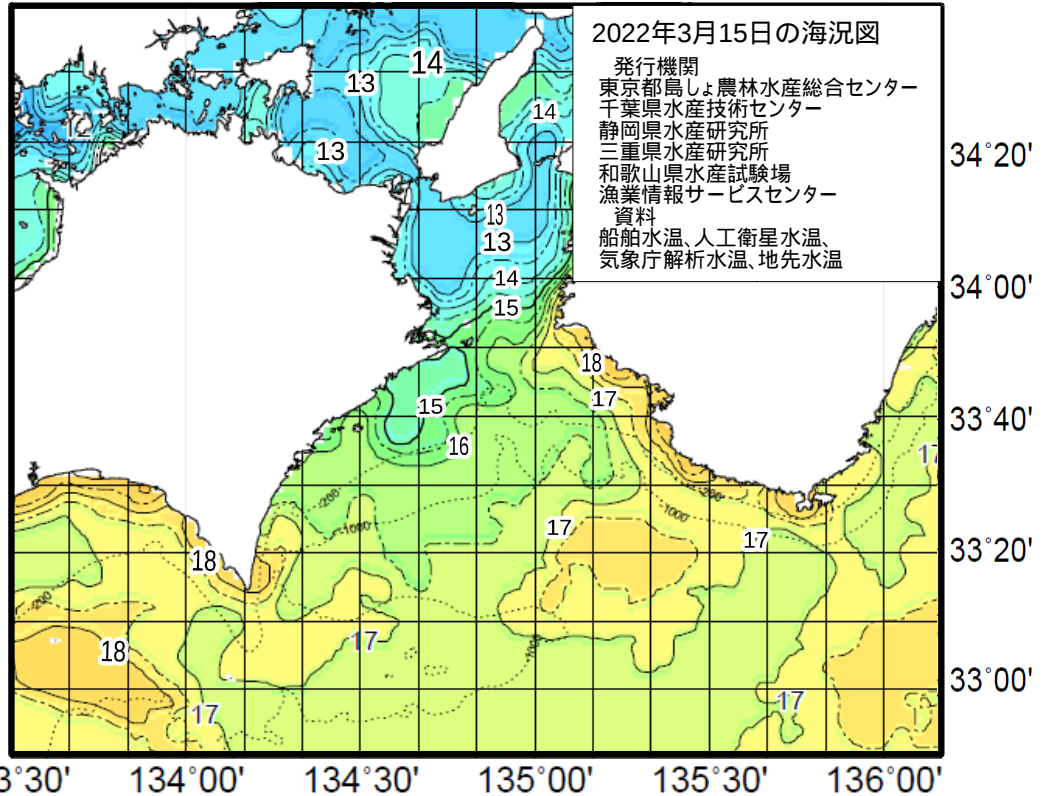
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖135マイル、潮岬沖129マイルを流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」している。このため、黒潮から紀伊水道外域への暖水波及は引き続き弱い。海部沿岸上灘は14台の内海水が南下している。

黒潮の表面水温は20,21台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が12~13台、紀伊水道が12~15台、海部沿岸が14~16台となっている。



黒潮の離接岸の表現

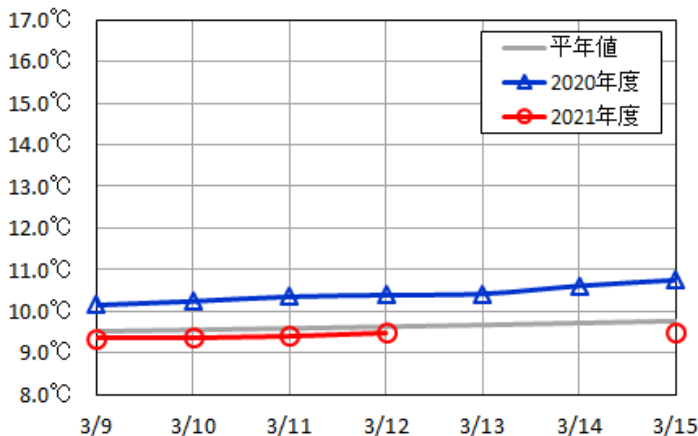
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

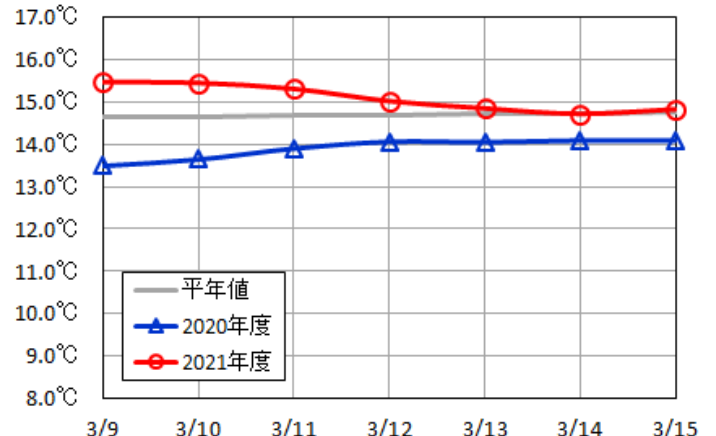
2. 地先水温(3月9日~3月15日)

鳴門地区の水温は9.4~9.5 で「平年並み」、日和佐地区は15.5~14.7 で「やや高め」から「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は6.1~5.5 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値±0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め: 平年値±1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5 以上

平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(3月16日~3月22日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」、日和佐地区は「平年並み」から「やや低め」に推移する見込み。

漁況 (3月7日～3月13日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

延縄では、ブリがめじろ級主体に1.3トﾝ、シマフグが増えて0.7トﾝ、サワラが増えて特大主体に0.5トﾝ、ムツが増えて小主体に0.3トﾝ、アカムツが増えて0.3トﾝ水揚げされた。

建網では、メジナが増えて0.9トﾝ、タカノハダイが0.2トﾝ水揚げされた。

小型定置網では、ブリが減ってめじろ級主体に0.5トﾝ水揚げされた。

底びき網では、コウイカが減って大主体に0.9トﾝ、マダイが大主体に0.6トﾝ、えそ類が0.4トﾝ、シリヤケイカが大きく減って0.3トﾝ水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、ブリが増えてめじろ級主体に8.6トﾝ、タチウオが増えて0.8トﾝ水揚げされた。

延縄では、ブリが大きく増えて0.4トﾝ、メダイが大きく増えて大主体に0.3トﾝ水揚げされた。

建網では、メジナが大きく増えて0.2トﾝ水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが増えて0.5トﾝ、イシダイが大きく増えて0.3トﾝ、マアジが大きく増えて小アジ主体に0.2トﾝ水揚げされた。

大型定置網では、マアジが大きく増えて小アジ主体に0.7トﾝ、ブリが大きく減って0.4トﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	延縄	45	ブリ	1,311	29	めじろ級主体	→
		35	シマフグ	708	20		
		28	サワラ	451	16	特大主体	
		17	ムツ	324	19	小主体	
		17	アカムツ	283	17		
	建網	51	メジナ	850	17		
		47	タカノハダイ	249	5		→
	小型定置網	9	ブリ	492	55	めじろ級主体	
	底びき網	32	コウイカ	924	29	大主体	
		27	マダイ	630	23	大主体	→
33		えそ類	358	11		→	
20		シリヤケイカ	302	15			
海部沿岸	釣り	82	ブリ	8,617	105	めじろ級主体	
		19	タチウオ	778	41		
	延縄	4	ブリ	423	106		
		2	メダイ	279	140	大主体	
	建網	39	メジナ	206	5		
	小型定置網	10	カタクチイワシ	457	46		
		7	イシダイ	274	39		
		13	マアジ	220	17	小アジ主体	
	大型定置網	4	マアジ	656	164	小アジ主体	
		4	ブリ	441	110		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: